

【生薬名】桂皮[㊦]、*CINNAMOMI CORTEX*

【起源植物】ケイ(和名なし、便宜上ケイとした) *Cinnamomum cassia*

【科名】クスノキ科 *Lauraceae*



【別名】スパイス名「シナモン」、桂枝(枝の皮)、肉桂(桂皮の肉厚のもの)

【薬用部分】桂皮：コルク層を去った樹皮、桂皮の内で肉厚の物を肉桂という
枝枝：若い枝

【主成分】精油(ケイアルデヒド)、ショ糖、タンニンなど

【薬性】気味は辛甘温、帰経は心肺膀胱に属す

【効能】●発汗解表・温通経脈・通陽化気

●漢方では気の上衝(突き上げ感)の主薬で、不可欠な生薬である

●発汗・解熱・鎮痛・健胃・整腸の効能があり、頭痛・発熱悪寒・汗出て痛みがあるとき良く使う

●健胃整腸には粉末にして1日1gをそのまま服用

●神経痛にも煎じて服用、1日4~5g

●辛温解表薬という薬効に属し、感冒などでゾクゾクする様な時に体を温め汗を出して治療する、1日4~5g

●発汗解熱、鎮静・鎮痙、末梢血管拡張、降圧、抗血栓、抗潰瘍、抗炎症、抗アレルギー、抗菌、水分代謝調節、消化吸収抑制などの作用が認められている

●桂皮が主薬の桂枝湯は漢方薬の中でも最も基本となる処方で、これに様々な加減をした処方が何十とあります

【出典】●肉桂 辛熱、善く血脈を通じ、腹痛虚寒、温補得る可し。(薬性歌)

●発汗には須らく麻黄，桂枝主と為す。(諸病主薬)

●主治衝逆也。旁治奔豚。頭痛。発熱。悪風汗出身痛。(薬徴)

【備考】●和菓子に使うニッキはニッケイという植物の根皮で桂皮とは全く別の植物

●セイロン、ベトナム、中国産とあるがベトナム産が良品で精油の含有量も多い

【処方例】●桂枝湯、葛根湯、桂枝加朮附湯、小建中湯、苓桂朮甘湯

●安中散、五苓散、桂枝茯苓丸